

ガイ  
ピアース

ロバート  
カーライル

ジェレミー  
デイビス

ジェフリー  
ジョーンズ

and デイビッド  
アーケット

# ラビナス

血もしたたる恐怖の味。



## RAVENOUS

フォックス 2000 ピクチャーズ提供 アダム・フィールズ/ハイデイ・フィルムズプロダクション「ラビナス」ガイ・ピアース ロバート・カーライル ジェレミー・デイビス  
ジェフリー・ジョーンズ ジョン・スペンサー ステファン・スピネラ ニール・マクドノー AND デイビッド・アーケット 音楽マイケル・ナイマン&デイモン・アルバーン  
指揮マイケル・ナイマン 編集ニール・ファレル プロダクション・デザイナーブライス・ペリン 撮影アンソニー・B・リッチモンド B.S.C. 製作総指揮ティム・ヴァン・レリム

サントラ盤:東芝EMI

DD DOLBY DIGITAL

製作 アダム・フィールズ デイビッド・ハイマン 脚本 テッド・グリフィン 監督 アントニア・バード

www.foxstudies.com

© 1999 FOXSTUDIES ORION PICTURES



世紀末・禁断のテーマ<カニバリズム(人肉食主義)>の極限に挑み、全世界を戦慄と恐怖に震え上がらせた世紀の問題作!!

1847年、メキシコ・アメリカ戦争の最前線で死者として扱われた兵士ジョン・ポイト大尉(「L.A. コンフィデンシャル」のガイ・ピアース)は、死体の山の中から意識を取り戻し、飢えと戦い人肉を食べ生き残り生還した。

一度人肉を食べた人間は相手のスピリットとパワーを吸収し、再び食べずにいられなくなるというインディアン伝説の魔力と誘惑に取りつかれた大尉は、新しく赴任した雪に閉ざされたセラ・ネバダ山脈にある砦で、信じられないような食うか食われるか、戦慄と恐怖の世界に直面することになる。



ある雪の夜、瀕死の男コルホーン(「フル・モンティ」で英アカデミー主演男優賞受賞のロバート・カーライル)が、砦にやって来る。彼はカリフォルニアに向かう移民だったが、雪に閉ざされ食料がなくなり、倒れた仲間死体から人肉を食べて生き残ったという。生存者が一人いると聞かされた砦の司令官は救出に向かうのだが…。

# ラビナス

and to let... scraps.  
 Che handful good for me...  
 Grind me...  
 with boot. mix in salt and  
 Ely Seard!  
 Drain sinus passage either by  
 scraping with spoon or fingers  
 Use to soak patches for the  
 night. Grill and eat with  
 tomatoes, onion + lettuce.



**STAFF**  
 監督.....アントニア・バード  
 脚本.....テッド・グリフィン  
 撮影.....アンソニー・B・リッチモンド  
 編集.....ニール・ファレル  
 音楽.....マイケル・ナイマン

**CAST**  
 ポイト大尉.....ガイ・ピアース  
 コルホーン.....ロバート・カーライル  
 クリーブス.....デビッド・アークェット  
 トフラー二等兵.....ジェレミー・デビス  
 ハート大佐.....ジェフリー・ジョーンズ



## その肉を前に人間究極のサバイバルの選択が試される。いま国際スターの脚光を浴びるピアースVSカーライル白熱の対決!!

飢えに直面した人間がサバイバルの極限で果たして人肉を食べられるか? 究極の選択をせまられた人間の間になるサスペンスとミステリアスなドラマとして一級の作品と批評家からも高い評価を得ている秀作である。

「L.A.コンフィデンシャル」と「フル・モンティ」という98年のアカデミー賞をはじめ多くの映画賞に輝き全世界で大ヒットした2作品の主演スター、ガイ・ピアースとロバート・カーライル白熱の対決が実現したのも大きな反響を呼んだ。

司令官らとポイト大尉もコルホーンと人肉を食べ争った惨劇の現場に直行するが、そこで彼らが見たものは?。そしてさらに追い討ちをかけて起こる信じられないような衝撃のドラマをあなただは直視できるか?。

「スクリーム」のデビッド・アークェット、「プライベート・ライアン」で注目のジェレミー・デビス、「ファースト・コンタクト」でホーク中尉を演じているニール・マクドノーなどの名優ジェフリー・ジョーンズなど強力な演技派が共演し迫力と恐怖を盛り上げている。



## 上映禁止問題を起こした「司祭」の監督アントニア・バードが人間の飢えと心の深淵に迫り再び世界に問う衝撃!!

監督のアントニア・バードは「司祭」で95年ベルリン映画祭批評家賞など多くの映画賞を受賞した新鋭女性監督だ。

彼女はタブーとされてきた問題に挑戦しつつづけている意欲満々の監督で、「ラビナス」は、ドナー・パス事件(1846-47)と言われる実際にカリフォルニア移民の間で起こった史実をもとにして、カニバリズムの極限を追究。バード監督が再びタブーに取り組んだ衝撃のこの問題作は、世紀末の全世界を震撼させており、いよいよ日本を直撃する。

なお音楽のマイケル・ナイマンは「ピアノ・レッスン」などで知られる日本にもファンの多い作曲家。彼の芸術的な完成度の高い旋律が作品に一段と風格を添えている。

4/8(土)~4/28(金) **ロードショー**

3/25 ~ 4/14  
 一般前売鑑賞券¥1400 当日/一般¥1700・学生¥1400

ホワイティ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分  
**扇町ミュージアムスクエア**  
 ☎06-6361-0088 www.oms.gr.jp

「マクマレン兄弟」の  
**エドワード・バーンズ監督最新作**

20世紀フォックス映画提供  
 製作総指揮ロバート・レッドフォード  
 脚本・監督エドワード・バーンズ  
**近日ロードショー**



ローレン・ホリー  
 エドワード・バーンズ  
 ジョン・ボン・ジョヴィ

**NO  
 LOOKING  
 BACK**

**ノー・ルッキング・バック**